

令和6年度 第4回 藤沢市立大鋸小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年11月26日(火) 9時30分～11時30分

場 所 藤沢市立大鋸小学校 2階 指導室

出席委員	堀河 俊介(会長・保護者) 山崎 晋治(副会長・大鋸小学校校長) 田中 舞(保護者) 大谷 美津子(村岡地区青少年育成協力会大鋸児童館長) 織部 朋子(大鋸地区社体協) 金澤 健二(おはようボランティア) 饗庭 寛子(村岡公民館長) 近藤 千鶴(大鋸小学校教頭) <p style="text-align: right;">以上8名(欠席者2名)</p>
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1) 大鋸小学校児童の実態、最近の様子、取り組みについて (2) 大鋸小学校の特徴をいかした学校運営協議会の取り組みについて (3) その他 4 その他
協議内容	意見等 *3(1) 大鋸小学校児童の実態、最近の様子、取り組みについて 【学校より】 ○運動会について ・高学年の主体的な活動、異学年での学び合い、内容も充実し、保護者からも好評をいただくことができた。 ○総合的な学習の時間について(5・6年) ・6年生の総合「つながろう!広げよう!地域の輪!」というテーマで、地域のニーズと自分たちにできることを融合し、積極的に地域と関わっていこうという学習を進めている。現在、クラスを解体した4つのグループ(①大鋸小 PR し隊②自然まもり隊③まちを助け隊④思い出のこし隊)に分かれて探究活動を行っている。今後、地域や保護者の方にも協力を得ながら、地域の中で学びを深めていけることを願っている。 ・5年生は、来年度入学する幼稚園・保育園の子と仲良くなる活動、交流を進めている。一緒に遊べる遊びを考え、学校が楽しいところだと伝えたり、新一年生として迎える時の言葉かけや関係づくりを学んだりしている。

○全国学力学習状況調査の結果から見えてきたことについて

- ・質問紙を見ると、「国語の勉強は好き」という回答は、全国・県より低い、「国語の勉強は大切だと思う」や、「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」の回答は全国・県より高かった。また、文章で書く問題についても、最後まで書こうと努力したと回答する児童の割合は、全国・県よりも高く、前向きに頑張ろうとする気持ちの高さが見られた。今後も、子どもたちの頑張りを認めながら、前向きに取り組む気持ちを大事に育みたい。今後のコミスクでの活動を考える視点の一つにしてほしい。

○鼓笛活動について

- ・11月の学校だよりでお伝えしたとおり、2025年度の活動を最後に終了することになった。鼓笛活動で培ってきたリーダーシップ、責任感などは、他の学習で伸ばしていきたいと考えている。

【委員より】

- ・運動会では、女の子の力を感じた。応援団をやっていない学校もあると聞くが、あの空気感や取り組みが、みんな頑張ろうとする気持ちを育てているように感じた。
- ・5年生の総合について、息子も幼稚園・保育園での交流がとても楽しく、来年入学する子だと思ふと無性にかわいかったと話し、最高学年になる意識も芽生えてきたように感じる。交流までの準備にも力を入れて取り組んでいた。充実した活動でありがたい。6年生の取り組みも、児童一人ひとりの得手不得手を生かしてそれぞれが力を発揮できたと思う。
- ・児童館の利用者は、昨年と比べて格段に増えている。夏祭り以降、交流会や児童館祭りなど、事業が続く秋だが、こちらも女子が力を発揮して頑張っている。
- ・9月からランドセル来館を試行している。現在、登録者は10名程度。
- ・全国学力調査の質問項目がおもしろいと感じた。児童館の工作コーナーも、「作り方」を職員が手書きで作っているが、自分で読んで作れる子もいれば、できない子もいる。動画を見て過ごす子が増えているため、国語の力、字を読むことが身近ではなくなってきているようにも感じる。
- ・社体協では、10月に地区レクを一日開催で実施した。参加者も多く、盛り上がった。最近、ドッジビーやグラウンドゴルフのイベントにも、お年寄りの中に子どもも入って、賑わっている。町内会のお祭りや藤沢公民館の事業にも、大鋸小の子どもたちがたくさん参加してくれている。
- ・20周年の頃は2~3クラスだった大鋸小も、45周年の現在は4~5クラスの学校になり、運動会を見ながら、改めて大勢の子どもたちが一緒に取り組む良さを感じた。
- ・地域とのつながりという点では、例えば中学校の学校公開日に小学生が参加したり、近くにある遊行寺との交流ができたり、田植えや畑づくりなど、土と触れ合う活動などもできるとよいのではと感じる。

- ・学習に対して前向きさがあることはよいが、学習面でのサポートや習慣づくりもできるといい。
- ・村岡公民館は、大鋸小から少し離れているが、夏まつりには、たくさん子どもたちが遊びに来てくれた。ふれあい音楽会に、4年生の有志が参加してくれたが、本当に楽しそうに歌う姿に感動した。公民館で見られる子どもたちは、とても素直。ロビーでの過ごし方についても、一度注意すると気を付けてくれて、周囲への気配りもできる子たちである。
- ・地域には、多くのお年寄りや学校とつながっていない人がいる。子どもたちの元気な姿を見ること、今の学校を知ること、そんな機会やきっかけを考え、学校とのつながりを広めていけるといい。
- ・子どもたちの読書率は上がっているという最近の調査結果もある。本を読ませることでなく、読みたくなる環境や、手に取れる環境を整えていくことが大事。

***3(2) 大鋸小学校の特徴をいかした学校運営協議会の取り組みについて**

【学校が感じている課題】

- ・夏のプールの運営、監視、整備
- ・別室で過ごす児童の対応、見守り
- ・職員の勤務時間外の見守り(例えば、一年生の教室での見守り8時~8時30分)
- ・稼業時間内・外の学習支援

【話し合いの結果、今後の方向性】

○学校を応援してくれる人を探していこう!!

- ・目的、内容、人選等整理して、チラシを作成し、コミュニティーを募集するのはどうか。
- ・まずは、教職員の思いや願い、PTA 組織とのすみわけ、連動等を確認、具体的な取り組みを明確にしていこう。
- ・始めからたくさんのサポーターを募るのではなく、できることをできる人ができる時に行う「ちょいボラ」のような視点で、今ある課題に対する募集ができるといい。また、学校に安心して出入りできるように、「サポーターの目印」のようなものがあるといい。
- ・このコミュニティーの人材管理を、学校ではなくコミスクコーディネーターに依頼していきたい。
- ・これらの取り組みを通して、保護者・地域・子どもがつながることで、多面的に学校を見ることができたり、卒業して学校との関係がなくなった後も地域とつながるきっかけになったりするだろう。将来的には、この取り組みが地域で抱えている様々な課題解決につながることも考えられる。
- ・次回2月の協議会までに、具体的な取り組みを確認する。

***3(3)その他**

【学校より】

- ・コーディネーターの募集、推薦について

今年から市の予算がつき、導入している協議会もある。学校と地域の橋渡しや、本校のコミスクのまとめ役を担っていただける方の協力をお願いしたい。(参考:今年度の謝礼は、月 5,000 円)

- ・コミスクに係る活動に参加してくれた方への謝礼もある。(参考:500円/回)

【会長より】

- ・遊行寺や畑体験、つながる場の提供、知る機会、読みたくなる環境等、今日の協議で話題になったキーワードについても、次回以降につなげていきたい

次回開催日程 2025年 2月 14日(金)9時30分～

場所 大鋸小学校 2階指導室